ゆたかクラブ豊橋だより

吉田春秋

第57号

市花：つつじ

■発行／ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）　■編集協力（株）博報社／名古屋市北区稚児宮通1−56　0120-0212-09

ごあいさつ

――事業実施方針と重点目標のご理解・ご協力をお願い――

ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）
会長　金田　好正

「ゆたかクラブ豊橋」会員の皆さまにはご健勝にてご活躍のことと心よりお慶び申し上げます。さて、去る4月21日の総会にて平成28年度の役員と事業実施方針を満場一致でご承諾をいただいてから3カ月余りが過ぎ、およばずながら会長として精一杯頑張らせていただいております。これもひとえに会員の皆さま方をはじめ、役員の皆さま、事務局の並々ならぬご支援、ご協力の賜物とありがたく、厚くお礼を申し上げます。

さて、「ゆたかクラブ豊橋」は50年以上の輝かしい歴史と伝統を持って今日に至っております。最近は少し元気がなくなってきたという残念な声を周囲から聞きますが、地域において、私たちに寄せられる期待の声はこれまで以上に大きなものとなっています。単位クラブ会長の皆さまにおかれましては、改めて平成28年度事業実施方針と重点目標の4項目を会員に周知し、クラブの新たな魅力づくりに挑戦していただくことを、この1面をお借りして切にお願い申し上げる次第でございます。

さまざまな課題はありますが、3つの新設クラブ誕生と、5名以上の会員増加クラブが29クラブあったことは大変喜ばしく、明るい話題をご提供くださったクラブの皆さまには心より敬意を表します。

今後とも「ゆたかクラブ豊橋」が発展するには、会員の皆さまが老人クラブを愛する気持ちを持ち、地域から愛されるクラブをつくっていくことが大切だと思います。私自身も、残された任期をそのような気持ちで邁進したいと思います。よろしくご支援、ご協力くださいますよう、伏してお願い申し上げます。

平成28年度 新役員の紹介です

会長
金田　好正

副会長
今川　智嗣

副会長
藤城　恒介

副会長
鈴木　和男

会計
戸鹿島はつ子

監事
片桐　政義

監事
福井　律子

総務部長
鈴木　純夫

広報文化部長
小山　正博

社会部長
兼仁連木ブロック代表
森下　佐六

保健体育部長
金田　紀夫

レクリエーション部長
夏目　　定

生きがい事業推進部長
兼つつじが丘ブロック代表
藤村　増男

交通安全対策推進部長
兼下地ブロック代表
前田　　恭

女性部長
石川　房代

女性部副部長
野口八重子

大岩ブロック代表
縣　　孝一

牟呂ブロック代表
杉浦　丈雄

高師ブロック代表
大村　　守

大清水ブロック代表
神藤　英教

石巻ブロック代表
佐藤　修康

八町ブロック代表
大林　昭雄

よろしく
お願いいたします

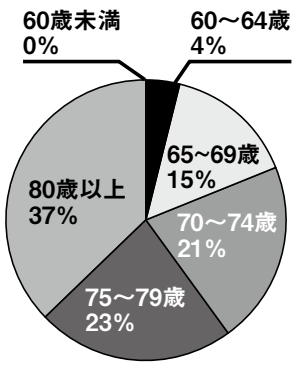
私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

「吉田春秋」は広告スポンサーのご協力によって発行されております

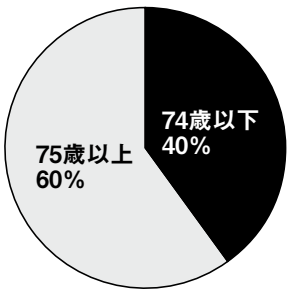
平成28年度　市老連年齢調査

◎市老連会員数／
16,809人
（男:7,343人、女:9,466人）
※74歳以下／　6,773人
　75歳以上／10,036人
◎市老連理事平均年齢
（平成28年度）**75.9歳**

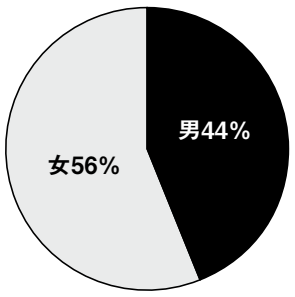
■年齢別



■前期高齢者・後期高齢者（75歳以上）比率



■男女比率



平成28年度　重点目標

1. クラブの魅力向上に向けた取り組みの推進
各クラブにおいて会員数が減少した原因や魅力ある活動について話し合おう。また、会員が活動しやすい体制を考え、新たな人材が安心してクラブへ入会できるような環境づくりを推進しよう。

2. 安心して暮らせるまちづくりの推進
高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるため、地域団体や住民参加による支え合いの体制づくりに積極的に関わり、一人一人が地域の支え手として活躍しよう。

3. 積極的な加入促進活動の推進
親しみやすい組織として活動を積極的に周知することで、若年高齢者を含め活動を共にする仲間の輪を広げ、明るく楽しいクラブ活動を推進しよう。

4. 健康長寿を目指す健康づくり・介護予防活動の充実
生き生きと末永く暮らすために、スポーツ活動や趣味の活動を積極的に行おう。また、地域の人や友人にも働きかけ、共に健康で充実した生活を目指そう。

平成28年度　豊橋市老人クラブ連合会総会

4月21日、平成28年度豊橋市老人クラブ連合会総会が、豊橋市公会堂で開催されました。

第1部の総会では、開会のことば、国旗拝礼、国歌斉唱、物故者への黙とうの後、金田会長が4月14日の熊本地震で被災者にお見舞いを述べられました。その後のあいさつでは、「平成25年に豊橋市老人クラブ連合会は、先輩方のご尽力で創立50周年を迎えることができました。しかし、現在は会員数の減少が問題になっており、早急に解決策を考えていかなければなりません。今こそ、私たちが得てきた尊い経験をもとに社会貢献をするチャンスです。われわれ高齢者が安心して暮らせる町づくりを、自らがつくっていくことに精進していきましょう」と来場者に呼びかけました。

続いて、公務で欠席の佐原市長に代わり木村邦久副市長があいさつを行い、顕彰へと移りました。それぞれの代表者が舞台上で感謝状（市長感謝状16名、会長感謝状56名）を手渡されました。

感謝状贈呈

次いで金田会長が議長に就かれ、議事へと入りました。議案第1号「平成27年度事業報告及び決算」、議案第2号「役員一部交代による後任役員の選任について」、議案第3号「平成28年度事業実施方針」、議案第4号「平成28年度事業計画及び予算」の全ての議案が拍手とともに承認され、今川副会長の閉会のことばで総会は滞りなく終了しました。

第2部のシニアリーダー育成事業講演会では、はじめに「落語でわかる！認知症」の演題のもと、落語家の微笑亭（ほほえみてい）さん太氏の講演が行われました。最近の時事ニュースなどをもとに話を広げ、認知症の現状や種類、原因についても分かりやすく盛り込んだ創作落語を披露。その中で〝大きな声を出さない〟〝急がせない〟〝自尊心を傷つけない〟といった、周囲が持つべき配慮を語られました。さん太氏のテンポのよい語り口に会場は笑い声に包まれ、参加者は落語を楽しみつつ認知症への知識と理解を深めました。

微笑亭（ほほえみてい）さん太氏

その後、豊橋市中央地域包括支援センター職員の伊藤久美子氏による、認知症についての説明がありました。

伊藤氏は、認知症の原因疾患としてアルツハイマー病が50パーセントを占めること、認知症の初期症状として〝記憶障がい〟〝見当意識障がい〟〝理解・判断力の障がい〟をあげられ、身の回りで当てはまる方への理解と配慮を求めました。

伊藤久美子氏

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

老人クラブのさらなる発展に向けて

豊橋市福祉部長　杉浦　康夫

ゆたかクラブ豊橋（豊橋市老人クラブ連合会）の会員の皆さまには、日頃より、本市の行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、今年度は豊橋市制110周年を迎える記念の年でありますが、ゆたかクラブ豊橋の皆さまには、長年、さまざまな活動により本市の高齢者福祉の推進にご尽力いただいております。趣味の教室やシルバースポーツ大会の開催は、高齢者の方々の健康で生きがいのある、いきいきとした暮らしにつながっておりますし、公園を掃除する清掃奉仕団、寝たきりの方を訪問する友愛活動は、地域社会への大きな貢献であるとともに、地域の絆を深めて強めています。

一方、本市は、長い歴史の中でも大きな転換期を迎えています。今年2月に公表されました平成27年の国勢調査速報値では、本市の人口が戦後初めて減少したことが明らかになりました。また、本市の人口ビジョンに基づく将来人口推計では、2060年には本市の人口は30万人を割り、高齢化率も40％に近づくと見込まれています。一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯も増加すると懸念されています。

今後は、こうした社会情勢の変化の中でも、いつまでも安心して暮らせる地域をつくっていくことが必要です。そのためには、高齢者の方々も一律に支えられる側となるのではなく、その持てる力に応じて、支える側となっていただく必要があります。とりわけ、元気な高齢者の代表ともいえる皆さまには、これまで培った豊かな経験を生かし、ゆたかクラブ豊橋の活動を通じて、地域での支え合いに積極的に取り組んでいただければと思います。

最後になりますが、ゆたかクラブ豊橋のますますの発展と会員の皆さまのご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げます。

平成28年度　豊橋市老人クラブ連合会　事業計画

月　日	行　事　名	場　所
4.21㈭	平成28年度総会	豊橋市公会堂
	平成28年度シニアリーダー育成事業講演会	
5月～8月	シルバースポーツブロック大会	市内一円
6.3㈮	第84回囲碁・将棋大会	高師老人福祉センター
6.7㈫～8㈬	理事研修視察	名古屋市港防災センター
6.24㈮	女性部長研修会	あいトピア
8月上旬	広報紙「吉田春秋」8月号発行	
8.21㈰	いきいきフェスタ出展	ライフポートとよはし
8.24㈬	第53回豊橋市高齢者福祉大会	豊橋市公会堂
9.15㈭～21㈬	第1回友愛訪問	各校区指定場所
	一声運動強化週間（前期）	市内一円
9.20㈫	老人クラブ社会奉仕の日	市内一円
9月～10月	市老連ブロック別演芸大会	各センター
9.23㈮	第18回ペタンク大会	陸上競技場
10.5㈬	第40回ゲートボール大会	陸上競技場
10.26㈬～28㈮	第11回とよはしシニアフェスティバル	豊橋市民文化会館
	（第48回趣味の作品展）	
	（第25回女性部チャリティーバザー）	
10.27㈭	（第39回趣味の演芸大会）	
11.9㈬	第18回グラウンド・ゴルフ大会	豊橋球場
11.16㈬	第26回豊橋市シルバースポーツ中央大会	高師緑地
11.22㈫	冨安貞夫杯　第4回ゴルフ大会	新城カントリー倶楽部
12.1㈭	交通安全街頭啓発	市内一円
12.14㈬	第4回ボウリング大会	岩屋キャノンボウル
1.19㈭	第4回吹き矢大会	豊橋市民文化会館
2月上旬	広報紙「吉田春秋」2月号発行	
2.6㈪～12㈰	第2回友愛訪問	各校区指定場所
	一声運動強化週間（後期）	市内一円
2.23㈭～24㈮	単位老人クラブ会長・女性部長研修旅行	未定
2月～3月	趣味の教室作品展・発表会	各センター
3月下旬	ブロック別会長研修会	各センター
通年	自転車教室	各ブロック

※事業・会議日程については、関係機関との調整により変更となる場合があります。
　変更する場合、理事会を通じて連絡いたします。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

第84回 豊橋市囲碁・将棋大会を終えて

大会の様子（囲碁の部）

6月3日㈮、梅雨入り前の青葉に囲まれた高師老人福祉センター。79名の競技者は闘志を内に秘め、平穏を装った涼しい顔が不気味である。

開会式で幕が開くと、いっぺんに表情が引き締まりました。「さあ、今日はどの戦法で仕掛けようか。昨晩寝床であの手この手を考え、実行に移す時がやってきた」とばかりに、異様な雰囲気に包まれた会場。

初めてこういった所へ参加した私は、少なくともそのような状況が感じとれたのです。

対戦相手は最初クジ引きでスタート。試合開始となり、競技方法は1人4番勝負で勝率の良い人が頂点に立つわけです。

競技スタート時の姿勢は90度であっても、悦に入ってくると、だんだんと前屈みとなり、力の入りようが分かってきます。

囲碁も将棋も老若男女を問わず、一生楽しめる高尚で安上がりな趣味、しかも思考力を高めるので、認知症予防には最適。いかがでしょう。

上位入賞の皆さん

午後2時を過ぎると、対戦者は絞られてきました。そしてその雰囲気は、大げさにいえば異様としか表現できない殺気が漂ってきます。固唾を飲む展開。ちょっとした気の緩み、甘い判断が勝敗を決めます。

3時半過ぎ、競技は終了、優勝が決まりました。競技者の皆さん、スタッフの皆さん、すごく楽しんだ1日、ありがとう。そしてお疲れさまでした。

（レクリエーション部長　夏目　定）

大会結果（敬称略）

囲碁の部A（参加者…19名）		
優　勝	沢田　昇三	鷹　丘
準優勝	小林　和雄	植　田
囲碁の部B（参加者…16名）		
優　勝	下島富米治	杉　山
準優勝	梅野　道宏	高　豊
囲碁の部C（参加者…11名）		
優　勝	朝倉　光夫	小　沢
準優勝	田中　鶴敏	大清水
将棋の部A（参加者…19名）		
優　勝	河合　孝一	石　巻
準優勝	小林　正和	鷹　丘
将棋の部B（参加者…14名）		
優　勝	北村　敦男	二　川
準優勝	仲井　文芳	高　師

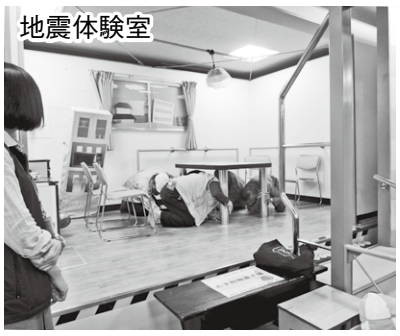
理事研修視察 名古屋市港（みなと）防災センター見学視察

市老連理事会は平成28年度理事研修視察先として、名古屋市港防災センターを選定しました。

「災害は忘れた頃にやって来る」。昔の人はうまいことを言ったものです。最近は熊本地震がニュースになっていますが、私の記憶では東海地震の危険が叫ばれて、地震研究が盛んになったように思っています。かなりな研究をされても予測は不可能に近く、「数百年は想定内」になるようです。

その後、十勝沖地震、阪神・淡路、新潟中越、東北など、数えきれない災害が起こっています。

危険が指摘されている豊橋地方だからこそ「転ばぬ先の杖」にするべき適切な時期の研修でありました。


地震体験室

名古屋市港区役所に隣接したこの防災センターは伊勢湾台風の災害を伝えているものですが、地震に対応する展示もされています。

地震の際は火事の発生がつきものですが、火よりも煙の怖さを知らされました。

いずれにしても、災害発生から3日間は自分で生き延びることを強調しています。この間は国や自治体はあてにできないため、自治会や老人クラブなど地域の団体が助け合わなければならないことを実感しました。

防災センター係員の分かりやすい説明で、防災に対する心構えができたように思っています。

阪神・淡路大震災後、神戸にもこのような施設ができていますが、豊橋から近い所にあるこうした施設は、学校教育の場でも活用していけると良いと思っています。

（総務部長　鈴木　純夫）

展示スペース

おしらせ

第53回豊橋市高齢者福祉大会

ダイヤモンド婚（結婚60周年）・金婚（結婚50周年）を迎えるご夫婦をお祝いいたします。

◆開催日時／8月24日㈬
午前9時30分～
◆開催会場／豊橋市公会堂
◆開催内容／ダイヤモンド婚・金婚を迎えられたご夫婦への祝詞贈呈、思い出スライド、アトラクションなど

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

校区・単位クラブ活動

芦原校区

NHK大河ドラマ「真田丸」の舞台 信州上田の旅

芦原校区老人クラブ連合会　伊藤　公満

年1回の楽しみにしていた1泊旅行がやっと来ました。日程は5月18日㈬・19日㈭、参加は36名（男女各18名）。

1日目は、松代で幕末の洋学の第一人者、勝海舟や坂本龍馬らに影響を与えた佐久間象山（ぞうざん）を祭った象山神社を訪ねる。

宿は開湯1300年の歴史がある湯田中渋温（しぶ）泉で、昭和10年開業の老舗「渋ホテル」。渋温泉は外湯巡り（9カ所）が有名。

待ちに待った宴会もカラオケで大変盛り上がり、あっという間に終了。各クラブの会長総出で歌い、お開き。

2日目は、宿を出て1時間ほどで上田城跡公園に着く。

ボランティアガイドさんからいろいろと説明あり。

お堀跡（昔、電車の線路があったという）の新緑のけやき並木を通り、石垣に高さ2・5メートルの「真田石」がある櫓門（やぐらもん）の前で記念撮影。本丸跡にある「真田神社」も参拝。

最後にお目当ての大河ドラマ館に入る。中は人人人。セットと映像で真田丸の世界を体感する。

公園を出て、次に真田家が神領の寄進や社殿の再建など崇敬を表し（1カ月前の4月16日～18日に御柱大祭を終えたばかり）、日本の真ん中に位置するといわれる国土の天神の生島足島（いくしまたるしま）神社（じんじゃ）に参拝。

その後、キノコ尽くしの昼食と土産を買い、帰途に就く。天候にも恵まれて楽しく親睦もでき、事故もなく皆無事に帰って来れました。皆さんご協力ありがとうございました。

おしらせ

第11回とよはしシニアフェスティバル

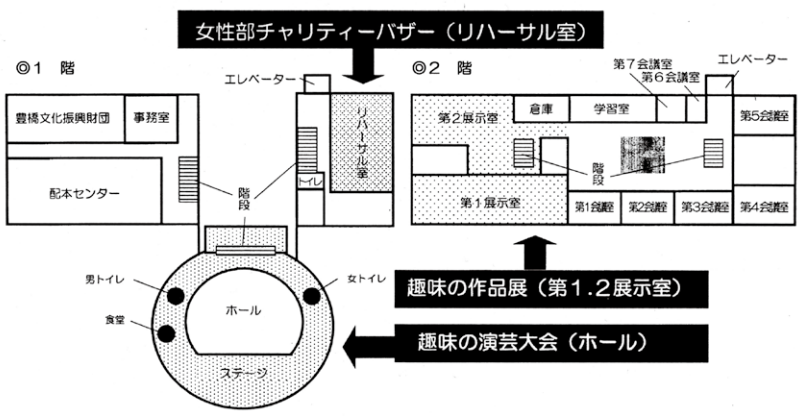
第39回趣味の演芸大会

「趣味の教室」の演芸種目に参加されている皆さまが、日頃の練習の成果を披露されます。

民謡・舞踊・詩吟・歌謡曲・童謡唱歌・大正琴・健康体操・ダンスなど、ジャンルは多岐にわたります。元気にご活躍されている皆さまにご声援をお願いします！

◆開催日時／10月27日㈭
開場　午前9時
開演　午前9時30分
◆開催会場／豊橋市民文化会館　ホール

豊橋市民文化会館　会場図



第48回趣味の作品展

普段から熱心に作品づくりに取り組んでおられる皆さまの、素敵な作品を会場に展示いたします。

日本画･洋画･ちぎり絵･絵手紙･俳句・写真・書道・水墨画・手工芸品など、数多くの力作が会場に並ぶほか、設楽町の皆さまの作品も展示されます。

◆開催日時／10月26日㈬～10月28日㈮
午前9時～午後4時
※最終日は正午まで
◆開催会場／豊橋市民文化会館　2階展示室

第25回女性部チャリティーバザー

毎年恒例のチャリティーバザー。掘り出し物が見つかるかも…。お早めに来場されることをおすすめします。

ご家族、お友達もご一緒にどうぞ！

◆開催日時／10月26日㈬～10月28日㈮
午前9時15分～午後4時
※最終日は正午まで
◆開催会場／豊橋市民文化会館　1階リハーサル室

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

「吉田春秋」は広告スポンサーのご協力によって発行されております

校区・単位クラブ活動

富士見校区

単位クラブ会長として

ニューレイク第二クラブ　鈴木　正宏

ゆたかクラブ豊橋の現状は44校区221クラブ、1校区当り平均5クラブ、会員数は1万6809名で、加入率は約15％となっております。私も入会してはや3年、今年で33年目を迎えた富士見は会員120名と弱小校区です。高齢者は60歳以上ですと約2000名、加入率は何と6％、平均年齢は78歳余りとなっています。クラブは二つしかなく、ゆたかクラブ豊橋の加入率に近づけるためにはどうしたら良いか自問しています。ゆたかクラブ豊橋主催の大会には常に参加し、なおかつ富士見という活字をより多く、そしてより大きくなれるように常に結果を出しつつ、富士見軍団ここにありと存在感をアピールしたいものです。

私の好きな言葉に世のため人のため地域のためそれから自分のためになれるように日夜葛藤しています。そして発想の転換で近い将来、単位クラブを新たに一つ増やそうという気持ちを前面に出しつつ取り組みたいものです。まずは会員相互の理解と現状を打破し、流れを変えようという気構えと意識をもって進まなければならないと思っています。目標としては1人1人が新規加入につながる行動を起こし、結果を出したいと願っております。取り組みとしては地元の自治会を始め各種団体、とよはしちょいボラの会とも横のつながりを密にしながら、口コミなどで存在感を出しつつ前進できるものと確信しております。

当面の目標としては新規加入促進を目指し、年度内に5名以上の仲間を増やすように頑張ります。

第3回ボウリング大会　団体準優勝

第3回吹き矢大会
男子個人の部　優勝決定戦

東田校区

老人クラブの楽しみ

仁連木・東郷寿会　石井　玲子

数年前まで義母の介護をしていました。連れ合いを戦争で亡くし二人の子どもを育てるのには、筆舌に尽くせぬ苦労があったことでしょう。80歳過ぎまで畑仕事に出ていましたが、老いとともに体調を崩し床につきました。嫁である私がお世話をさせてもらいました時、70歳を過ぎていながら高齢者の集まりには少し抵抗感がありました。幸いにして近隣に「老人福祉センター」があり、出掛けてみました。八十路には見えない壮健な会長さんの笑顔のもとに大勢の方が寄って来られます。年間を通しての色いろいろな行事や奉仕活動の企画は、例会として、待ち遠しい楽しみのひとときとなりました。

ある時、出前寄席がありました。演題も高齢者に合わせたもので、皆さんには大受けで会場は笑い声でいっぱいでした。また月1回ある「おしゃべりサロン」では、元教職にあった方が豊富な資料を集めて来られ、和気あいあいの中で話の輪が広がります。まさに老成円熟な方々のおかげがあって楽しく過ごせる時間をありがたく思います。こうして皆さんと手をつなぎ合って、いつまでも元気な「お達者クラブ」としたいものです。

会員随想

日記と70年

栄校区　小松町長寿会　伊藤　信平

昭和20年、終戦の年の夏、かつてない敗戦とその後の混沌とした世相を私なりに記録に残そうと思い立ち、日々見聞したことを書き始めた。さらに翌年3月からは、これらのことを含めた日記にすることにした。

以来70年、今見ると用紙もわら半紙のB5に罫線もなく、表紙も手作りの和綴じしたお粗末なものであった。やがて上質紙が出回ったが、手製の謄写版で罫を印刷し、表紙を手書きしたりでやはり質素なものであった。

字数も次第に増え、1日400字から500字くらいになった。そのおかげか、文書作成の苦労は少なく、職場でのエッセー、小論文などに応募することがあり、その資料として日記の記録が役立った。それに選者の批評が楽しみでもあった。

やがて手作り日記から市販の日記帳になり、3年日記、5年日記ともなった。これらは字数が少なく時間的に負担はぐっと減ったが欄外まではみ出すことが多くなった。良いことは、書きながらさかのぼった年の同日のことまでその場で見られることである。

昨年末に買った今年の日記は、余生を考え3年日記とした。

70年、溜まった日記も遠からず処分する時が来る。しかしこれは私の分身であり、断捨離を迫る家人の言に応じる気にはまだなれない。

古日記
ブルース調で
読み返す

瑞宝双光章の受章について

東田校区　親和会　喜多　直子

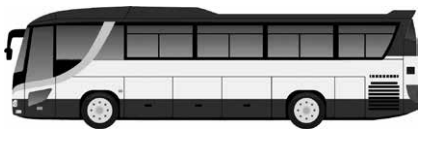
地方自治に長い間従事し、功労があったとして、親和会会長の森下佐六さんが、高齢者叙勲の対象になり、平成27年7月1日付で瑞宝双光章が授与されました。

親和会としても、この上もない喜びでありまして、12月の定例会の行事が終了した後で、出席者全員で受章の喜びと、親和会がますます発展することを一同で誓い合いました。

高齢ドライバーの事故に思う

岩田校区
北岩田一区老人クラブふたば会
小椋（おむら）かつ子

最近バス事故が多い。運転手の高齢化。安い運賃の競争。何の仕事もそうだろうけど、人の命を預かる大切な仕事。「すみません」では済まされない。



1月のスキーバスツアーでは、大学生ら15人もの人が亡くなった。これから将来ある若者、親御さんのことを思うと胸が痛む。家族はどこへ怒りをぶつけていいのか、人ごとではない。一生懸命育てて、これからという時にどうして。朝出掛けに「気を付けて」と送り出して、数時間後に突然「バス事故で亡くなりました」と言われても、誰が信用できますか。親として身を切られる思いだろう。これからバラ色の人生が待っていただろうに。

私の家族も車に乗っているから人ごとでない。帰るまで気に掛かる。前途ある若者の命を奪ったバス会社、もう二度とあんなひどい事故を起こさないように運転手の教育をしてほしいわね。今はただ亡くなった人の冥福を祈るのみだ。

私も誘われて諏訪大社にバス旅行へ。前日は大雨でどうなることかと思ったけど、当日は上天気。これも常日頃のおかげと家族に感謝。これからも体を鍛え、ボケないよう趣味を持ち、残り少ない人生楽しく生きてきて良かったと思える人生を送りたい。

孫も皆成人し、今年大学を卒業。卒業旅行に海外へ。幼い時から一緒に遊んで孫と関わってきたおかげ。海外に目を向けていい経験をして、土産話をしてくれるだろう。孫に負けないよう社会と関わって、ボケないように、誰も老いてゆく自分自身のためにも頑張ってふたば会に入り、カラオケ、絵手紙と一緒に楽しみませんか。待ってまーす。

心の歌

飯村校区
第二飯寿会
西川　文子

ひ孫たちが集まると、おのおのに幼稚園で習った歌やテレビで覚えた歌を歌いにぎやかです。私も負けじと昔の唱歌を歌います。何の気なしに歌っていましたが、このごろ心情うかがえる素晴らしい詞だと改めて気付きました。

「里の秋（斎藤信夫作詞）」はお父さまが出稼ぎに行っていて、その恋しさと無事を祈る歌です。

また、「ふるさと（高野辰之作詞）」は全て大和言葉で綴られていて一言一言が懐かしく心に響きます。

私の大好きな「七つの子」や「シャボン玉」は野口雨情先生の作詞です。「シャボン玉消えた　飛ばずに消えた　生まれてすぐに　こわれて消えた　風風吹くなシャボン玉飛ばそ」この歌はわが子を生後間もなく亡くされ、その寂しさの中で書かれたとのこと。子への愛情が切なく胸にせまり目頭が熱くなります。

雨情先生は、他にもアメリカと親交を結んだ時、人形使節交換がなされた際、「赤い靴」「青い目の人形」を作詞されました。遠い見知らぬ国でどんな思いをしているだろうかと思いやる優しい日本人の心がうかがえます。

私たちは幼い頃から素晴らしい詞曲に恵まれ、歌を通して日本の自然の美しさや日本人の心を受け継ぎ、心豊かに育っていくのです。いつまでもいつまでも歌い続けたいと思います。

亡き夫も
　共に歌うや
　　集い来て

豊橋素人歌舞伎公演観劇にて

東田校区
仁連木・東郷寿会
畠　正行

去る3月20日、穂の国とよはし芸術劇場プラットへ公演を見に行ってまいりました。今年は豊橋素人歌舞伎保存会創立30周年にあたり、東くるわちんどん、伊藤陽扇ショー、愛知県立豊丘高等学校和太鼓演奏などの共演も見られラッキーでした。

そして本題、歌舞伎の幕開けは、佐原市長と豊橋文化振興財団・藤原副理事長ご両人の昨年を思うと、威風堂々たるも愛嬌をも交えた余裕すら感じる見事な掛け合い口上に、場内からの拍手喝采が。続く恒例の寿式三番叟では、高1と中1の女学生2人の華やかで巧妙な舞いにしばしうっとり。

いよいよ本題の演目に、①寿曽我対面、②恋飛脚大和往来封印切の場、③奥州安達ヶ原三段目袖萩祭文の場とお馴染みな狂言揃いでその見せ場熱演においては客席からの間髪入れぬ掛け声が飛び交い、さながら御園座の舞台でも見ているような錯覚すらも。瞬時に勢い良く投げ入れられるおひねりの音に、「これぞ素人歌舞伎の醍醐味ぞ」とほくそ笑む場面も。

こうした晴れの舞台も脇で支える太夫、三味線、囃方、黒子さん、裏で支える演技指導の先生方、音声、照明、大小道具方、衣装、かつらにいたる皆さん方の一致団結があればこその公演ではないでしょうか。しかるにその全てを支える保存会、後援会の皆さま方のご苦労に敬意を表し感謝申し上げる次第です。

また、来年の公演を楽しみにいたしております。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

桜に想う

栄校区
弥生町大空会
小山　正博

この頃、桜の花がきれいだと思うようになった。若いころは花見頃でも、別段気にも留めなかった。

65歳を過ぎたころから、桜の花のにぎわいに思いをはせるようになった。それは、無意識のうちに、人生の折り返し点を過ぎたと思っているからだろうか。潔さを発揮する機会を得ることなく、年齢を重ねた悔恨か。

散り際の潔さ。使命を帯びて帰らぬ身となる心模様。若き特攻隊員の志願の果てか。国家のためか、家門のためか、わが身の栄光のためか。自らの意思か、命短くして散る花の艶やかさ。

咲いたかと思うと、パッと散る。若くして散る人の命に例えられる桜。日本人の桜の花に寄せる哀感は、越えられぬ運命のはかなさを、悼みながらたたえているようだ。

桜の木の下には、美しい女の人が埋まっている。そのように詠った詩人がいた。

あえなく散るから、美しいと、人の命のはかなさをいとおしんだ。近年、外国人観光客にも桜の花がもてはやされている。木の枝にぎっしりと咲き誇る花は、誠に見事で圧巻である。周りの空気を桜色に染める。陽気に見つめていると、愛の歌も恋の歌も心の中に湧いてくる。

年老いて、周りをゆっくり見るようになったせいかもしれない。

「同期の桜」を聞くと、戦いなんて、国家の欲の果ての愚かなことと思う。

戦争にまつわる私の体験(抄)4

二川南校区
二川南町寿会
山本　民男

宮様の転校2

教室での宮様の席は中央で、どこから当て始めても、当たる箇所が予測できるようにしたようです。

ただ1つの例外は漢文（現代の古典で古代中国人が中国語で書いた文章を日本人が日本語で読む科目で難科目の1つ）の先生で、「次はここからやりますから、予習してきてください」と指示を出したようです。

次の日、真っ先に宮様を指名し、できなかったので授業が終わるまで立たせたようです。

この時には全従業員が仕事を中止して、出迎えと見送りをいたしました。

勤労動員とは、「今の日本には勉強している余裕はないはずだ。工場で働け」と、13歳前後から強制的に工場で働かせられたことです。

宮様の出勤と退出時間は従業員の休息に合わせたのでしょうが、迷惑した人々が多数いたのではないでしょうか。それとも、宮様もわれわれ庶民と同じように汗水流して工場で働く姿に感動して、気持ちを新たにして仕事に励んだのでしょうか。その結果は聞かずじまいでした。

（次号に続く）

熱中症を防ぐためには

①暑さを避け、環境に応じてエアコンや扇風機を使いましょう。
②服装を工夫しましょう（外出時には日傘や帽子を着用）。
③こまめに水分を補給しましょう（特に就寝前は必須）。
④急に暑くなる日に注意しましょう。
⑤暑さに備えた体づくりをしましょう。
⑥個人の条件を考慮しましょう（熱中症患者のおよそ半数は高齢者）。
⑦集団活動の場ではお互いに配慮しましょう。

低栄養を防ぐ食生活のポイント

1日にとるべき主菜などの量の目安を1つ（SV）、2つ（SV）とおおづかみに示した食事バランスガイドなども参照しながら、たんぱく質の不足を防ぎましょう。※SVはサービング（食事の摂取量の単位）の略

Point 1 欠食をしない

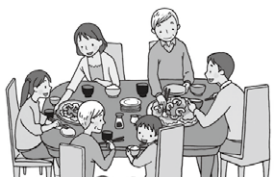
食事を抜いてしまうと、1日に必要なエネルギーやたんぱく質を補うことがむずかしくなります。食が進まない時は、1回の食事の量を減らし、1日4～5回に分けて食べましょう。

Point 2 食事の時間を規則正しく

食事を規則正しくとることは、睡眠と覚醒のリズムなど、体と心の1日のリズムをつくるうえで大切です。そのリズムが胃腸の働きを整え、食欲を高めることにもつながります。

Point 3 家族や仲間とワイワイと

おしゃべりをしながらの会食は、食事のたのしみを5倍にも10倍にもしてくれます。できるだけ1日1回は、家族や友人と30分以上かけて食事をとりましょう。



Point 4 主食を忘れずに

ごはん、パン、めん類などの主食は1日を活動的に過ごすためのエネルギー源です。主食を抜いてしまったときは、おやつの甘いものや果物で糖質を補いましょう。

Point 5 主菜をしっかり

肉、魚、卵、大豆製品などのたんぱく質を含むおかずをいろいろ組み合わせて、1日3つ（SV）以上とりましょう。そのためには、義歯や噛み合わせの調節など、よく噛める状態を維持する口腔ケアも大切です。

1つ分＝冷奴＝納豆＝目玉焼き一皿
2つ分＝焼き魚＝魚の天ぷら＝まぐろとイカの刺身

Point 6 牛乳・乳製品を毎日

寝たきりにならず、元気な高齢者は、牛乳、ヨーグルトなどを毎日とっています。1日2つ（SV）を目安にとりましょう。

1つ分＝牛乳コップ半分＝チーズ1かけ＝スライスチーズ1枚＝ヨーグルト1パック

Point 7 咀嚼（そしゃく）・嚥下（えんげ）機能にあった食べ方を

咀嚼（噛む）や嚥下（飲みこむ）の機能低下がある場合は、主食をお粥にしたり、主菜をひと口で食べられる刻み食にするなど、食べやすくする工夫をしましょう。お茶や汁物にむせるときは、市販のとろみ調整食品を利用するのも方法です。

私の大切な時間

前芝校区
前芝絵手紙教室
北河　明子

私は、毎月第1火曜日の午後を楽しみにしています。校区市民館で、絵手紙教室が開かれるからです。この前芝絵手紙教室は、平成14年の市民館講座「楽しい絵手紙教室」が終了した後に、自主クラブとして継続してきたものです。発足当時の会員数は21名、講師の塩野谷石三先生のもと皆で和気あいあいと楽しく描いていました。

その後、講師は新進気鋭の吉田さち子先生と交代されました。会員数は20名には届きませんが、さまざまなモチーフ、画材に挑戦してきました。はがきだけでなく絵馬、巻紙、牛乳パックを再利用した屏風仕立て等々。

そして昨年は地元のみなと塾主催の「前芝川灯ろうまつり」にも参加させていただきました。これがご縁で、風に揺らめくろうそくの淡い灯に描いた絵が浮き上がって見える新しい分野の楽しみも味わうことができました。

また教室には、隣の小学校の子どもたちが一緒に絵を描きに来てくれます。子どもたちの新鮮な発想による色の組み合わせ、独創的な素材の捉え方などには、毎回驚かされ、大変良い刺激を受けています。

少々気後れしている時でも、絵を書き始めると心や気持ちがドキドキ、ワクワクしてきます。これが受け取った人の心を刺激するのでしょう。忙しい日常生活の中でも、何を置いてもこの時間は作り出して参加させていただいています。

会員同士、互いに誕生日にはバースデイカードとして絵手紙を送っています。

ここにお二人の作品をご紹介させていただきます。

杉田明美さんの作品

中川洋子さんの作品

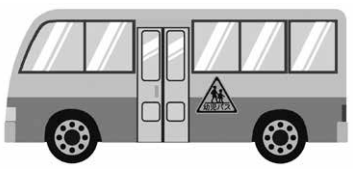
地域の変貌

牛川校区
若宮町ことぶき会
豊田　しげ

今日も2羽の椋鳥が、朝といわずタ方も一生懸命ピラカンサの赤い実をついばんでいるのを眺めるのは、私1人です。

畑も宅地に変わり、今朝も早くから「ガチャガチャ」と家を建てる音が聞こえます。昔は「トンチンカン」という音だったような気がしましたが。年を重ねたためでしょうか。

近頃は蝉の声も少なく虫の音も聞くことなく、野の花にも変化あり自分の年の多さを感じます。文化的な家が隣組に上の壇に4棟、下にも5棟ほどできました。町内ではこのところ4、5年のうちに、ここそこと5棟、10棟ほどできています。幼児のマイクロバスも朝晩わが家の前を通ります。とても町が若返ったような思いがします。こんなことを考えるのは自分が高齢のためかと思います。今は朝児童を見送り、心豊かに暮らす今日このごろです。



潮干狩の思い出

花田校区
西羽田町ゆたかクラブ
羽田　光江

東日本大震災の前までは幡豆のうさぎ島にて、毎年グループの潮干狩の行事があった。

ある年、当日は強風注意報もあり寒気がひどく身支度も注意した。集合場所で渡船が欠航と聞き、潮が干るのを待って島へ渡るため海の瀬の場所へ移動した。他にも団体客がいっぱいであった。潮はまだ深く潮の干るのが待ち遠しい。

ほぼ1時間もすると「○○の皆さま出発します」と合図があった。強風で旗の布が引きちぎれるほどで旗を持つ人も吹き飛ばされまいと必死で竿を捕まえている。水位もまだ20センチあまり、長靴でも危ない深さだ。向かい風は顔を痛くたたきつける。頭から囲っているので周りは見えない。前のみ見て転ばぬようにゆっくり長靴を進ませる。海流も急速で、かなり抵抗を感じる。800メートル、人の後をついて進みやっと対岸の島へ着いた。

見たところ近いと思ったが歩くと遠い。靴下やズボンの裾がびしょぬれだ。潮が引いたので海に入る。澄んだ海水の下にはやどかりや巻貝が歩いている。10センチくらい砂をかくと、あさりがいっぱい手に触れる。小粒だがたくさんいそうで、張り切って砂をかく。1時間もしないうちに、小バケツ8分目ほどあさりが取れた。

陸に上がって弁当にした。あさり汁や焼あさり用の七輪が配られ、赤い火を見ながら体を温めてホッとした。子どもたちも着替えたり、重ね着したりで寒さに耐えている。帰りも歩かねばならず、潮が満ちてこないうちに上陸しないと島に取り残されてしまうのでゆっくりしていられず計量袋一杯で引き上げだ。

追い風で帰りは軽く歩けた。

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

会員文芸

俳句

■岩田校区
北岩田一区老人クラブふたば会
清流に翡翠（かわせみ）一羽飛び立ちぬ
小椋（おむら）かつ子

■岩田校区　東岩田長寿会
初日をば米寿で迎え四方に謝す
千賀　芳彦
五月晴孫と出かけるひだの里
加藤カツエ

■岩田校区　平岡区老人クラブ若竹会
不眠夜の水琴の音に癒されり
白井　善晴

■老津校区　老津俳句教室
苺食（は）むプチプチと噛む小さき口（くち）
石田　初江
伊賀の里忍者の墓標ぬらす雨
三浦　松代
白砂の枯山水や緑立つ
彦坂　博子
風通う道を知り得る青田かな
鈴木　純夫
物干しの白一色や風薫る
別所　善子
新緑の山に隠れる夕日かな
平川　竹節（たけよ）
草笛を吹けば心は空を舞い
西野　敏男
夜の桶に浅蜊そろりと舌を出す
高橋いすゞ

■豊校区　西岩田親睦クラブ
名苑の茶室に憩ひ笹ちまき
金田　英子

■豊校区　三ノ輪本町本寿会
秋の城吉田の宿に主居ず
磯部　馨
若波会
ゆれる眺めかな
河合　昭子
松原寿会
舞う雪の朝
伊藤富士子

■谷川校区　中原町立岩会
逆転の抱き合ふナイン雲の峰
朝倉　政敏
藤村の生家馬籠の蝉しぐれ
池田すみ江
五箇山は七寸五分の竹の春
堤　昭雄

■杉山校区　泉向山明日望会
風習を真似て外人花の下
花井　稔
夕桜まがりし腰をさすりけり
井土　幸子

■杉山校区
平凡に生きて二人の桜餅
彦田　純子

■飯村校区　第二飯寿会
山々を遠くに抱き桃の花
竹内　澄子

■飯村校区　高明日望会
観劇の余韻そのまま春惜しむ
広中　雅子

■大清水校区　大清水老人クラブ虹の会
鯱跳ねし美技に拍手や春の旅
水野　せつ

■牛川校区　若宮町ことぶき会
進学の支度整のう春隣
豊田　しげ

短歌

■岩田校区
北岩田一区老人クラブふたば会
縁遠い娘を思うと逝（し）にきれず
やっと嫁（とつ）ぎし遠くなりけり
小椋（おむら）かつ子
夕焼けの飛行機雲の美しさ
外国旅行夢がふくらむ
北井さえ子

■岩田校区　北岩田三区福寿会
ふつふつと思い出ばかりが湧き出でる
永久（とわ）の別れや友よ安らかに
城　憲男
真夜めざめ耳をすませば窓辺より
ささやくような春雨の音
伊藤みつよ
細波に静かに竿差す渡し舟
預かる命向う岸まで
荒津　一男
青空に映える桜も笑顔なり
水面にうつし人等迎える
大野　興子
巣づくりを励むつばめをながめつつ
喜こびて生き今は無き父
藤田ひな子

■岩田校区
縁側へ友が来たりて白線の
一直線の空の蒼さや
白井　善晴

■豊校区　西岩田親睦クラブ
朝顔の一番咲きはむらさきの
大輪なり晴れ間の庭に
金田　英子

■老津校区　老津喜楽会短歌教室
路地裏の猫も五月の風物詩
そよ風の中なか背伸びしており
石田　初江
今年こそ意気込む割りに今一つ
野菜作りの奥の深さよ
鈴木　元恵
昼下がり日ざしをあびてうたたねの
目覚めた時の心おだやか
鈴木きみゑ
いつ見ても三つ並んで売られおる
八百屋の棚にローソクセット
原田　玲子
葉桜の盛り越え来し歓声は
ペタンク集う同好の友
柵木　早苗
忙がしく一休みするひまもなし
次の仕事を段取りつけし
彦坂　貞子
隣には楽符の読める異邦人
練習日ですツバメ来ました
伴　匡晃
ひもすがら雲雀のうたの開墾地
八十路となりて今は恋しく
三浦　松代

■飯村校区　シニアクラブ同好会
伊良湖崎芭蕉の句碑に「鷹（たか）ひとつ…」
みつけたジャンボ機何処え行くのか
長坂　一昭

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

■大崎校区　大崎老人クラブ
命日に夫の墓へと集りて
子等と思い出語りつつ詣づ
田中さな江

シルバーカー買いたる事が嬉しくて
用事を作り彼方此方へ行く
近藤美代子

義弟（おとうと）は釣りしメバルを差し出して
「春告げ魚よ」とにこやかに言う
神藤みち子

すもうみる時間忘れて間にあわず
あとの祭りとなりて悔しき
大塚　千代

■吉田方校区　若波会
老いたもの同志集まりカラオケに
残る若さをもやし樂しむ
河合　昭子

新品の百本立のこの茶筅（ちゃせん）
誕生日にと息子（こ）のプレゼント
横山　宜世

ちちははの穏やかなりし晩年を
今日も恋しむ病む姉看つつ
丸山二三四

■吉田方校区　吉川男女（みな）の会
致知と云ふ息子（こ）の読み居りし月刊誌
論語よりとの誌名なるを知る
中村　芳江

■吉田方校区　菰口町寿会
だだこねて〈蜜柑ないか〉と目白鳴き
山茶花の花散らして過ぎる
杉浦尊香子

■東田校区　東雲町老人クラブ和友会
花ふぶき吹き寄せらるる側溝は
ピンクに染まり美しきかな
松田　陽子

■前芝校区　前芝短歌教室
「隠しごとしては駄目よ」と母さんの
教へとちがふ秘密保護法
松下　正子

紅白の花桃活けて部屋中が
滝のやうなり花咲きほこる
山口　正江

車庫もまた改築されて車道へと
われも歩行のリハビリ兼ねる
山本　幸代

紅白の桃の花活け春の香に
つつまれし床の間正座して見る
中島タエ子

斜向かひの客に目がゆく若き日の
母に似てゐて目が離せない
中河　廸子

雪つもり風なく晴れてことしまた
縞枯山荘のあま酒旨し
河合　益代

廃炉作業の出口も見えぬ原発に
翻弄されるフクシマの人
牧平　澄子

■津田校区　西日進会
苔むしの岩肌弾く那智の滝
涼しさ架けし虹の橋見ゆ
笹野　君夫

■富士見校区　ニューレイク第一クラブ
新緑やもえるみどりの柿の木に
きじ鳩たわむる老婆ながめん
早川　郁代

■幸校区　南松原寿会
古希迎え人生坂を振り返り
あの日この時思いをはせり
伊藤富士子

久しぶり故郷の先祖に墓参り
遊び山は新東名に
菅谷　益夫

世界一長き歩橋（ほはし）よ大井川
古今を知るや河原なでしこ
金子　浩吉

自転車の低きサドルに少し慣れ
穏し春日をわが町走る
大橋　睦子

川柳

■岩田校区
北岩田一区老人クラブふたば会
親を越え育ってくれた後継者
小椋（おむら）かつ子

■岩田校区　平岡区老人クラブ若竹会
帰途急ぐ日暮の虹や雨上り
白井　善晴

■岩田校区　東岩田長寿会
音痴なり歌うカラオケ作曲家
千賀　芳彦

■吉田方校区　若波会
焚火して焼きいも待つ子えびす顔
河合　昭子

■大清水校区　第一豊松会
金婚式よく続いたと語り合う
石川　重幸

■二川校区　二川のんほいクラブ
陽が昇るこの一日を凜と生き
河合　正秋

■飯村校区　第二飯寿会
咲く花と散りだす花のウオーキング
夏目つたみ

■東田校区　仁連木・東郷寿会
お題「ふる里」
奥三河ふる里帰りもやっとかめ
板橋　章一

原発で汚染ふる里帰られぬ
畠　正行

古里が遠くなりしと人淋しい
大石　綾子

ふる里の祭り絆は手筒の炎
河合　正年

はじかみの伝統文化伊勢参り
髙橋　誠

屑まゆではた織り続け母の影
田中　千江

通学路石コロ道で下駄歯かけ
藤井　克代

ばかうまい古里じまん天狗茄子
後藤マサ子

のんほいの言葉ににじむ温かさ
榎島　謙一

ふる里は今も市電の走る町
佐原　久代

半世紀離れたふるさと賀状だけ
清水　良子

景気良く煙突ならぶ糸の町
鈴木いと子

■杉山校区　泉向山明日望会
某知事と比べて妻に褒められる
花井　稔

母の日を祝ってくれる娘は六十路
井土　幸子

■杉山校区　高明日望会
熊本へ愛の食糧どんと着く
彦田すみ子

文添えて花鉢とどく寡婦の家
竹内　澄子

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています

「吉田春秋」は広告スポンサーのご協力によって発行されております

《インタビュー》

単位クラブ紹介

多米校区老人クラブ連合会にお邪魔しました。

インタビュアー／㈱博報社

多米校区老人クラブ連合会は、第一和来会と第三和来会という二つの単位クラブにより構成されています。〝和来（わらい）〟という名の通り、〝笑い〟声の絶えないすてきなクラブで、今まで全国各地のクラブにお邪魔しましたが、その中でも特に明るい皆さんの集まりでした。

元気な笑顔とユーモア溢れる語り口が印象的な福井律子会長に、多米校区老人クラブ連合会の特徴を伺うと、「何といっても仲がいいこと。声を掛ければすぐにみんなが協力してくれます。それから、地域とのつながりが強いことですね。自治会の行事には積極的に参加していますし、自分たちがウォーキングイベントを開催する時には自治会長さんがすごく協力してくれるんです」と、誇らしげに答えてくださいました。

◆盛りだくさんのクラブ活動

多米校区老人クラブ連合会では、雨の日以外は毎日練習が行われているというグラウンド・ゴルフや、のど自慢の方が揃う歌謡曲などの活動をはじめとして、「歩け大会」「芸能祭」など、イベントが盛りだくさんです。「芸能祭」は、老人クラブ会員以外の方も参加できるように門戸を広げているそうです。

このほか、多米校区老人クラブ連合会にはスポーツ吹き矢の愛好家が多く、2年ほど前から、月に2回の練習が行われています。取材でお邪魔したこの日も、ちょうど吹き矢の練習が行われているところでした。最近では特にこの吹き矢の活動が盛んで、独自に市外の大会にも参加しているそうです。また、吹き矢の筒を気兼ねなく持ち運べるように、皆さんお揃いのおしゃれな布袋を使っていたのが印象的でしたが、その布袋は小村とみ子前会長のお手製で、多米校区老人クラブ連合会オリジナルのものだそうです。皆さんの仲の良さが、吹き矢の道具からも伝わってきました。

◆多世代交流イベント「ふるため」

多米校区には、地域の皆さんから「ふるため」の愛称で親しまれる木造校舎（旧多米小学校校舎）があります。「この校舎のある風景をまちに残し続けたい」。そんな多米の方たちの思いから、校舎を活用し、地域の大人が先生となって自分の得意な遊びを用意し、子供たちと一緒に遊ぶ「ふるため　あそびのがっこう」というイベントが毎年行われています。

あやとりやだるま落としといった昔遊びといえば、まさに老人クラブの得意分野。普段接する機会が少なかった子供たちと昔遊びを通して一緒に遊び、自然とその親世代との交流にもつながるそうです。「ちょっと前までは、隣近所の人がどんな人なのか、子供がいるのかさえ全く知りませんでした。『ふるため　あそびのがっこう』が始まってからは、〝老人クラブのおばあちゃん、おはようございます〟と、子供たちからあいさつをしてくれるようになりました」と、福井会長もうれしそうに話してくださいました。

今年の「ふるため　あそびのがっこう」は、9月18日㈰に多米町にある〝ふるため（豊橋市民俗資料収蔵室）〟にて開催されます。ぜひ、皆さんも足を運ばれてはいかがでしょうか。

ご協賛各位へのお礼

この度「吉田春秋」の発刊にあたりまして、広告掲載のご協力を賜り誠にありがとうございました。本紙は、会員が生きがい・健康・教養を高めながら交流の輪が広がるよう願って刊行いたしております。今後とも何とぞ末長きご厚誼、ご支援をお願いいたします。

ゆたかクラブ豊橋

編集後記

吉田春秋をお届けします。今号もたくさんのご投稿をくださり、ありがとうございました。広報文化部では、皆さま方のご意見・投稿などをお待ちしております。

今後も読みやすく楽しい紙面づくりに努力してまいりますので、よろしくご支援をお願い申し上げます。

ゆたかクラブ豊橋　広報文化部

原稿募集

◎校区活動、単位クラブ活動、俳句、短歌、川柳、随想などの投稿を募集します（写真を添付いただく場合はきれいなものをお願いします）。

◎原稿用紙600字。俳句・短歌・川柳については各1点ずつでお願いします。

◎必ず、校区名・単位クラブ名・氏名を明記してください。

◎紙面の都合上、やむなくカット・見送る場合があります。

◎締め切り／11月末日

◎投稿先／ゆたかクラブ豊橋事務局（豊橋市今橋町1番地・豊橋市役所長寿介護課内）☎51・2337

私たちは、ゆたかクラブ豊橋の活動を応援しています